

## 第 1 4 回生駒市総合教育会議 議事要旨

## (1) 生駒市教育大綱の改訂について

## ①奈良県立教育研究所 小崎主幹との講演及び意見交換

## 小紫市長

## 【教育大綱の改訂について】

- ・国の情勢にも配慮しながら、策定していきたい。

## 【コミュニティスクールについて】

- ・学校は最も利便性の高い地域拠点になり得る
- ・学校を活かして地域に好影響をもたらす、地域を活かして学校にも好影響をもたらす連携。
- ・様々な立場の方が集まって、行動につながるワークショップ。

## ②教育委員からの提案（時間都合により省略）

## ③学校長からの意見

## 吉川校長

## 【教育大綱の策定について】

- ・教育の根本はやさしさを育むこと。（最もソフトな部分）
- ・やさしきや心を育てるというのは、普遍的。教育大綱に盛り込む。
- ・働き方改革：運動部活動のスポーツクラブ化。

## 高島校長

## 【教育大綱の策定について】

- ・中学校生活を通じて生徒達には自立を促していきたい。
- ・安心安全に学べる環境づくり（ハードもソフトも）
- ・人権教育の推進。
- ・働き方改革：いかに教員にゆとりを持ってもらうか（打合せをコンピュータ内で）

## 原井校長

## 【ICT機器活用について】

- ・活動の中で、児童に何を考えさせているか、何を目的に話をしているか、どんな思考を働かせるのかという本質的なことを意識
- ・学校全体がチームとして機能するような研修

#### 【コミュニティスクールについて】

- ・地域の皆様に学校づくりの基本方針を知らせ、共に学校づくりに関わってもらおう。
- ・学校が地域のために果たす役割は何かを考える。
- ・地域主体でワークショップを開催し、地域課題設定をしたい。
- ・つなぎ役としてのコーディネーターは、市内各校にも配置すべき。
- ・地域は子ども達とのつながりを感じられることが、やりがいになる。
- ・学校が地域の方にとっても居場所に

#### 奥田校長

##### 【教育大綱について】

- ・「実践したい学校経営」、「地域との連携、協創」、「職員の働き方改革」の3つの柱は関連し合う。

##### 【コミュニティスクールについて】

- ・コーディネーターが必要。
- ・管理職→教員→地域の順でコミュニティスクールの考えを波及させる。
- ・地域・学校・保護者が横並びになって、経営方針の共有から始めなくてはならない。  
（「コミュニティ会議」立ち上げ）
- ・教員の楽のためのものではない。
- ・両者にメリットのある取組が必要（地域の清掃活動に生徒らが参加）

#### 山中校長

##### 【教育大綱の改訂について】

- ・人権教育の推進（スクールソーシャルワーカーの配置等の重要性）
- ・地域連携

##### 【コミュニティスクールについて】

- ・地域と共にグランドデザイン（「学校コミュニティ協議会」の立ち上げ）
- ・学校・地域・保護者の三者三様のニーズがある。三者ともが得をする関係性
- ・地域に愛着をもって、地域に貢献したいという気持ちを育てる。
- ・子どものためにという一つのモチベーションは、地域を一つにまとめる力がある。
- ・みんなで学校を盛り立てているという実感があれば、様々な世代間のつながりもできる。
- ・PTAは地域と学校の関わりを認識されておらず、今後積極的に関わりたい

## 小紫市長

### 【コミュニティスクールについて】

- ・ 壱分小学校や生駒南第二小学校の地域連携の取組を、他校の先生が見学するのはどうか。
- ・ 地域にもメリットになるような枠組みを作るべき。
- ・ コミュニティスクールに向けた協議会等の運営方法、出席者の選定を慎重に。
- ・ 子ども達が地域に飛び出す。
- ・ マンネリ化している取組を撤廃して、現役世代も学校に関わるのが面白くなるような取組を増やす
  - 現役世代とコミュニティの関わり方を変えれば、PTA協議会のあり方も変わる
- ・ 部活動・学童を外部組織に。施設は学校を使用するのも良い。
- ・ 学校もあくまで公共施設だから、市民が学校をより活用できるように、地域に開放されるべき。
- ・ テーマ型のコミュニティが市内には沢山あるので、校区内外を超えて連携をする。

### 【ICT機器活用について】

- ・ ICT機器を活用することによって、コミュニケーションに好影響を与える

## 中田教育長

### 【コミュニティスクールについて】

- ・ 主旨：子ども達の生きる力を育むために地域力を結集させ、地域ぐるみで子ども達を育てる。
  - 学校が主体となって取り組む意義

## 飯島委員

### 【コミュニティスクールについて】

- ・ コミュニティスクール先進地は必ず専任のコーディネーターがいる。
  - ボランティアと意識が違う。

## 寺田委員

### 【教育大綱の改訂について】

- ・ 命を大切にすたくましさ、やさしさというものを、教育大綱の中心に据える

### 【コミュニティスクールについて】

- ・ コミュニティスクールは、それぞれの意識改革が最重要である。
- ・ コミュニティスクールの目的を共通理解する必要。(×何をしてほしいか)

### 神澤委員

#### 【コミュニティスクールについて】

- ・保護者が中心となった取り組みも視野に入れるべき
- ・地域にどんな活動があるのかを確認してだけで、取組の幅も変わってくる。

#### 【教育大綱の改訂について】

- ・メンタルヘルスリテラシー教育は学校教育の枠組みでしかできない。
- ・援助希求に触れる。

### 坪井委員

#### 【教育大綱の改訂について】

- ・援助希求については、学校、地域の方々も理解しておくことで、子ども達を救える。

### レイルズ委員

#### 【コミュニティスクールについて】

- ・地域にとってのメリットを掘り下げて、お知らせしていくことも必要

### 西井委員

#### 【教育大綱のキーワード】

- ・何か言われたときに、「しなやかな心」でそれに受け止める。

#### 【コミュニティスクールについて】

- ・何をやるにも先生が居なくてはならないならば、コミュニティスクールは先生の負担ありきになってしまう。

### ④社会教育機関からの意見

### 小紫市長

- ・サマーセミナーを市民自治協議会やコミュニティスクールの枠組みでできたら素晴らしい

### 神澤委員

- ・生涯という観点で、人生を縦に見たときに、教育には何ができるのかを考える必要